

2026年3月18日

報道関係者各位

株式会社 **日本トリム**

日本トリム、広島県立庄原実業高等学校で
農業用電解水素水整水器「AG-10」3台の贈呈式を3月5日(木)に実施

整水器売上金額シェア No.1^{※1}の株式会社日本トリム（本社：大阪市、代表取締役社長：田原周夫、以下「日本トリム」）は、広島県立庄原実業高等学校（広島県庄原市）へ農業用電解水素水整水器「AG-10」を3台贈呈しました。2026年3月5日（木）には、学生や教職員を前に贈呈式が実施されました。

同校の生物生産学科では、野菜や果物の栽培実習に本整水器を活用し、水質の違いが作物の生育や品質に与える影響についてデータ取得を行う予定です。

※1 2023年度家庭用整水器国内市場 同器本体におけるメーカー出荷金額ベースシリーズ製品合計値 株式会社矢野経済研究所調べ 2025年6月現在 ※本調査結果は、定性的な調査・分析方法による推計である。



■贈呈式の様子

当日は、学生および教職員が見守る中、農業用電解水素水整水器「AG-10」が3台贈呈されました。生徒たちからは、ぶどうやトマトなど栽培予定の作物のほか、電解水素水の活用方法や期待する変化などを発表しました。



●生物生産学科 農場長 徳永隆志先生からのコメント

本校の生物生産学科では、常に次世代の農業を模索しています。今回贈呈いただいた整水器を活用し、水質の違いが作物に与える影響を科学的にデータ化できることは、生徒にとって貴重な学びの機会となります。水素水栽培を通じて、収益性だけでなく付加価値の高い農業の形を、生徒と共に追求していきたいです。

●生物生産学科2年生 絹谷虎琉さんからのコメント

今回の整水器を使って、自分たちが育てるぶどうやトマトがどのように成長していくのか想像するだけでワクワクしています。水を変えることで、これまでにない新しいブランドや価値を庄原から発信できることがとても楽しみです。科学的な研究を楽しみながら、よい研究結果を届けられるよう頑張ります。



■日本トリムの農業事業について

現在の日本の基幹的農業従事者^{※2}は、2015年から2024年の9年間で36.6%（約64万人）も減少しました。また、65歳以上が約7割を占める^{※3}など、農業の担い手不足と高齢化が深刻な課題となっています。また、低収益な点が問題視されることなども理由となり、農業離れが加速している状況です。

^{※2} ふだん仕事として主に自営農業に従事している世帯員。2024年と2015年の比較。

^{※3} 農林水産省「農業労働力に関する統計」より

(<https://www.maff.go.jp/j/tokei/sihyo/data/08.html>)

日本トリムでは、生産効率の向上、栄養価の高い機能性作物生産への寄与、植物工場での活用等による食糧問題・食の安全の問題への貢献を目指し、「農業用電解水素水整水器」を販売しています。「農業用電解水素水整水器」は、水道水や地下水を電気分解し、植物への散布や灌水により、抗酸化成分の増加や農作物の増収が期待できるもので、付加価値の高い高品質な果実や野菜を販売することで農家の方々の所得の増加に貢献することを目標にしております。

2011年に整水器から生成した水素を含んだアルカリ性の電解水素水を青ネギ栽培に使用したところ、収穫量・品質が上がったことをきっかけとして、そのメカニズム解明のため、電解水素水の農業への応用について高知大学と共同研究を開始しました。その後、高知県、南国市、JA 南国市、高知大学との5者協定による産官学での「還元野菜^{※4}プロジェクト」の推進や理化学研究所との共同研究など、電解水素水で栽培した野菜＝水素ベジ・水素フルーツ[®]の普及、機能性の解明を目指してエビデンスの取得に注力してまいりました。



「農業用電解水素水整水器」
導入例



左：水道水 右：電解水素水



還元野菜プロジェクト調印式
(2015/7/3)

今後、日本全国の農家へ電解水素水を普及させることで日本の農業収益改革の一助となるよう努め、将来的にはこの栽培方法を世界に広げ、画期的な農業改革に貢献することを目指しています。

※4 水素ベジ・水素フルーツのこと。

■農業用電解水素水整水器について

農業用電解水素水整水器 TRIM AG シリーズ (2014 年 10 月販売開始)

標準本体価格：AG-10、AG-30 オープン価格

https://www.nihon-trim.co.jp/product/ag/trim_ag10/

水道水や地下水を電気分解し、植物への散布や灌水により、抗酸化成分の増加や農作物の増収が期待できる電解水素水を生成する農業用整水器。家庭用整水器の開発を 40 年以上続けてきた当社の技術を駆使し、商品化しました。



農業用電解水素水整水器

■日本トリムとは

株式会社日本トリムは、1982 年に現会長である森澤紳勝が創業し、医療機器である電解水素水整水器製造販売を主軸とした事業を展開しています。世界に先駆けて水が持つ機能に着目し、30 年以上にわたる産官学共同研究により健康をサポートする水®、電解水素水の機能、有用性を追求しています。

現在では、電解水素水の活用は飲用にとどまらず、血液透析における次世代新規治療法や農作物の栽培など様々な分野へと応用し展開しています。また、グループ会社では国内最大手の民間さい帯血バンク（株式会社ステムセル研究所、東証グロース市場：7096）事業を展開するなど、日本トリムグループはグローバルなメディカルカンパニーを目指しています。

■会社名/株式会社日本トリム（東証プライム市場：6788）

□設立年月日：1982 年(昭和 57 年)6 月 12 日

□代表取締役社長：田原 周夫（たはら のりお）

□資本金：992,597,306 円

□従業員数：735 名（2025 年 3 月末日時点 ※関連会社等を含む）

□企業ホームページ：<https://www.nihon-trim.co.jp/>

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ・ご質問>

株式会社日本トリム 広報窓口 平井・浅尾

TEL：06-6456-4633

E-mail:pr@nihon-trim.co.jp